

# わだち

## WADACHI

vol. 511  
2024.1

Fukushima Trucking Association report

福島県トラック協会広報誌

トラックは生活と  
経済のライフライン

### Topics

#### — 新年のご挨拶

— 「飲酒運転根絶並びに交通事故防止決起大会」を開催

— 令和5年度 第5回理事会

— 「県ト協セーフティチャレンジ」申し込みのご案内

新年あけまして  
おめでとうございます!  
本年もよろしく  
お願いいたします!



公益社団法人 福島県トラック協会

<http://fukutora.lat37n.com/>

# 謹賀新年

皆様に幸多き年となりますようお祈り申し上げます。  
令和6年 元旦

公益社団法人福島県トラック協会  
会長 佐藤 信成

## Contents -目次-

### 県ト協NEWS

新年のご挨拶 (公社) 福島県トラック協会 会長 佐藤 信成 …… 1	令和5年度「物流交流授業」を開催 …… 8
新年のご挨拶 東北運輸局福島運輸支局 支局長 佐藤 雅和 …… 2	県ト協青年部会が令和5年度「全体研修会」を開催… 9
新年のご挨拶 福島県知事 内堀 雅雄 …… 3	県ト協女性部会が令和5年度「研修会」を開催 …… 9
新年のご挨拶 福島県警察本部 交通部長 板垣 靖志 …… 4	ふくしまゼロカーボンDAY! in しらかわ 2023ワークショップ開催… 9
「飲酒運転根絶並びに交通事故防止決起大会」を開催… 5	「県ト協セーフティチャレンジ」申し込みのご案内 …… 9
令和5年度 第5回理事会 …… 6	支部だより …… 10
令和5年度 第1回広報委員会 …… 6	新企画「トラックトピックス」 ～福島県トラック協会理事紹介～ …… 12
令和5年度「陸運事業者のための安全マネジメント研修」を開催… 7	ふくトラ・インフォメーション …… 14
(株)タムラ、(有)だいわ運送の車両が「Gマーク」をPR!… 7	会員だより …… 15
運送業説明見学会及びミニ面接会を開催(東北支部)… 7	陸災防NEWS …… 16
「Airワーク採用管理」導入・活用セミナーを開催 …… 8	東北交通共済 新年のご挨拶 …… 17
福島労働局長と「長時間労働の削減等に積極的に取り組んでいる企業」との意見交換会に丸か運送(株)が参加 …… 8	協会コラム …… 18

## お知らせ

### 交通事故統計

第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況は下記の通りとなります。  
交通規則を守ることは、社会人としての基本的な責務です。会員事業所におかれましても、プロドライバーとして、より一層の交通安全対策をお願いします。

よろしく  
お願いします!



4つの  
心得

#### 第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2023年 概数	発生件数	6	4	3	5	4	2	5	4	1	11	4	49
	死者数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	傷者数	8	4	3	5	4	2	7	4	1	12	4	54

交通規則の遵守

思いやり運転等交通マナーアップ

速度の抑制

交差点での安全確認の励行



# 新年のご挨拶

公益社団法人 福島県トラック協会  
会長 佐藤 信成



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げますとともに、令和6年の新春を迎え謹んで年頭の挨拶を申し上げます。

旧年中は、福島県トラック協会の事業活動に、御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年は、働き方改革関連法が施行されます。いわゆる「物流2024年問題」に直面する年になりますが、備えは出来ているでしょうか？

未だにという言葉は適切なのか妥当なのかは疑問ですが、これからと答える事業者は、少なくないと考えます。直面している課題が、各社様々であり一概には言えませんが、例えば、荷主側の要因で発生する荷待ち時間、付帯作業、また、労働時間等の改善に不可欠な高速道路、有料道路使用の料金未払い、燃料価格の高止まり、交渉しても上がらない運賃、さらには、慢性的な人手不足など、自助努力では解決できない事案が足枷になっていることが、業界の現状であり最大の問題であります。

4月1日より改正改善基準告示、時間外労働時間の上限規制960時間が施行されることは、荷主、運送業者共に周知されておりますが、法律違反をした場合は、労働基準法違反での刑事責任による刑罰に加えて、所管官庁による行政処分が科せられることは、意外と周知されておられません。

2024年問題解決に向け、政府による「物流革新に向けた政策パッケージ」が発表されましたが、解決の特効薬にはなっておらず、また、公正取引委員会からも価格交渉に関する指針が発表され、公正な競争を阻害するおそれがある場合には、独占禁止法及び下請代金法に基づき厳正に対処すると明記されているものの、交渉に対する回答期限の決まりがないため、全く効力を発揮できていないのが現状であります。

輸送実態として、企業間輸送が9割以上を占めている中で、荷主との交渉以外に、運送業者の労働時間の改善と適正運賃の收受を実現させる手段はありません。交渉し易い環境作りと運送原価に基づいた運送料金アップ交渉が急務であります。

さらに、今後益々労働時間に対する規制は強化されると考えられることから、年間720時間(月間60時間)を時間外労働時間の目標に置いて改革していかなければなりません。しかしながら、労働時間の問題だけではなく、人手不足解消に向けての荷役作業の機械化による「標準化」、自動化での「省人化」、DXの推進による輸送の「効率化」などの課題が山積しております。まずは、サプライチェーンマネジメントの導入を図り、且つ、荷主企業と連携し輸送効率を向上させることで、問題解決を目指していかなければなりません。

当協会としては、SDGs推進による脱炭素社会実現に向けての物流構築、そして、大規模災害を想定した災害に強い物流システム構築を進めてまいります。安全面では、法令厳守のもと労働災害事故防止活動、飲酒運転根絶並びに車輪脱落事故を含む交通事故撲滅など、より一層の取組を強化してまいりますので、よろしく願いいたします。

結びに、令和6年が、皆様にとって幸多き一年となりますように祈念いたしまして新年の挨拶といたします。



# 令和六年 新年のご挨拶

東北運輸局

福島運輸支局長 佐藤 雅和



新年、明けましておめでとうございます。

令和6年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

公益社団法人福島県トラック協会 佐藤会長はじめ会員の皆様方には、日頃より国土交通行政各般にわたり格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

皆様方には、物流を通じて社会に貢献されるとともに、交通事故防止や環境対策にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに心より感謝申し上げます。

さて、東日本大震災、東京電力福島第一原発事故の発生から間もなく13年となります。関係皆様のご尽力により被災地の復興に向けた取り組みは着実に進んでおりますが、真の復興への道のりは未だ半ばにあると言わざるを得ません。被災地の復興に向けた取り組みは、関係者の皆様のご尽力により着実に前進しており、被災地域における経済活動が活発化していく中で、物流の果たす役割は非常に重要となります。「福島の復興」が更に進むことを願うとともに、福島運輸支局としましても、引き続き被災地の方々に寄り添った復興施策を実施してまいります。

トラック運送業界においても、従前からの課題である取引環境改善、運転者不足や2024年4月から適用されるドライバーに対する時間外労働上限規制等の働き方改革への対応に加え、燃料価格の高騰などにより運送事業を取り巻く環境は大変厳しい状況となっている中、地域生活や経済活動を支えるため事業を継続されているトラック運送事業者の皆様のご尽力に深く敬意を表します。

福島運輸支局といたしましては、平成27年に設置した「トラック輸送における取引環境・労働時間改善福島県協議会」において、関係皆様のご協力をいただきながら、トラック事業者と荷主との取引環境の改善やドライバーの長時間労働の是正等の課題解決に向けた取り組みを進めてまいります。また、令和5年7月には「トラックGメン」が創設され、発荷主企業のみならず着荷主企業も含め、適正な取引を阻害する疑いのある荷主企業・元請事業者への監視体制が強化されました。「トラックGメン」による調査結果を貨物自動車運送事業法に基づく荷主企業・元請事業者への「働きかけ」「要請」等に活用し、実効性を確保してまいります。運転者不足については、支局長による高等学校訪問をはじめとした人材の確保・育成に向けた取り組みを引き続き実施し推進してまいります。

国土交通省が告示した「標準的な運賃」は、トラックドライバーの労働条件を改善し、トラック運送事業がその機能を維持しながら国民生活と経済を支えていくために、法令を遵守して経営する際の参考となる運賃を示すことを目的としており、貴協会のご尽力により多くの事業者様が届出されているところです。福島運輸支局としましても、今後も標準的な運賃が実勢運賃に反映されるよう、トラック事業者、荷主企業の皆様に対して浸透を図る取り組みを行ってまいります。

自動車運送事業にとって、「輸送の安全・安心の確保」は最大の使命であり、そのため、企業の経営トップから現場乗務員に至るまで輸送の安全の重要性を認識し、絶えず安全性の向上に企業全体で取り組むことが重要です。福島運輸支局といたしましても、「安全」と「安心」を根幹に据えて、貴協会と連携しながら各種課題に取り組んでまいります。

運送業界を取り巻く課題は多岐にわたり、環境意識の高まりや新型コロナウイルス感染症により変化した社会の状況を踏まえ、DXやカーボンニュートラルに向けた動きも活発化しております。福島運輸支局といたしましても、貴協会をはじめ関係機関と連携を図りながら、自動車運送事業における安全対策に万全を期すとともに、事業の活性化に向けた取り組み等、課題の解決に向けて努力してまいりますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人福島県トラック協会並びに会員事業者皆様方の益々のご繁栄を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 明るい未来へ、 「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」

福島県知事 内堀 雅雄



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

公益社団法人福島県トラック協会の皆様には、日頃から

本県の交通行政全般にわたり、御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、本県の物流サービスの重要な担い手として、産業活動を支え、県民生活の向上に御尽力いただくとともに、運送事業を通じた交通安全の推進に積極的に取り組まれていることに対しまして、深く感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことから、地域の伝統的な行事やお祭りが開催されるなど、県内においても様々な催しが再開され、コロナ禍前の日常を徐々に取り戻しつつあることを実感できた年でありました。

また、震災と原発事故から間もなく13年が経過する中、県民の皆様の懸命な御努力と国内外からの温かい御支援により、避難指示区域が縮小し、ふるさとへの帰還に向けた動きが加速しているほか、世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」を目指す福島国際研究教育機構(F-REI)が始動するなど、明るい光が一層の強まりを見せてまいりました。

さらに、震災後、55の国・地域で行われていた県産農林水産物の輸入規制は、EU等の規制撤廃により7つの国・地域にまで減少したほか、若い世代を中心とした県内への移住者数や新規就農者数が過去最多を更新するなど、これまで続けてきた挑戦の成果が目に見える形となって現れております。

一方で、未曾有の複合災害からの復興・再生、さらには、急激に進む人口減少や度重なる自然災害への対応など、本県には複雑で困難な課題が山積しております。特に、昨年8月に海洋放出が開始されたALPS処理水の問題は、今後数十年にわたる長い取り組みが必要となります。

県といたしましては、引き続き、これまでの挑戦を更に「シンカ(進化・深化・新化)」させながら、震災と原発事故からの復興・再生と人口減少対策に全庁一丸となって取り組んでまいります。

まず、震災と原発事故からの復興・再生につきましては、地域の実情を的確に捉え、復興の状況に応じた被災者の生活再建や事業・生業の再生、帰還に向けた環境の整備などに取り組むとともに、廃炉と汚染水・処理水対策や、風評の払拭と風化の防止などに着実に取り組んでまいります。

次に、人口減少対策につきましては、自然増対策として、社会全体で子育てを応援する気運の醸成を図るとともに、結婚・妊娠・出産・子育ての希望を叶える環境づくりに向け、ライフステージに応じた切れ目のない支援を行ってまいります。また、社会増対策としては、県内で働く魅力について戦略的に発信し、若者の県内定着や環流を図るほか、移住・定住の更なる促進、関係人口の創出・拡大に取り組んでまいります。

さらに、昨年9月に発生した台風第13号に伴う大雨災害からの復旧につきましては、被災された方々の一日も早い生活再建や事業者の皆様の生業再生、公共施設の早期復旧に向け、市町村と連携して取り組んでまいります。

加えて、全国と比較し大変厳しい状況にある本県の健康指標については、オール福島の体制で健康づくりに取り組むなど、県民の皆様の健康増進を積極的に推進してまいります。

福島県が抱える課題は複雑であり、解決には長い時間が必要となります。だからこそ、総合計画に掲げた目標を「ひとつ、ひとつ、実現」し、県民の皆様お一人お一人が将来に夢や希望を持ち、豊かさや幸せを実感することができる福島の未来を創り上げるため、全力で挑戦を続けてまいりますので、今後とも、一層の御支援、御協力をお願い申し上げ、新年の御挨拶といたします。



# 年頭のご挨拶

福島県警察本部

交通部長 板垣 靖志



新年、明けましておめでとうございます。

公益社団法人福島県トラック協会の皆様方には、日頃から交通安全活動をはじめ、警察行政の各般にわたり、格別の御理解と御支援をいただいておりますことに対し、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の交通事故は、発生件数・死傷者数ともに一昨年と比べて増加するという厳しい結果となりましたが、一方で歩行者、特に高齢歩行者が犠牲となる交通死亡事故は大きく減少させることができました。

この成果は、貴協会が高齢歩行者の事故防止対策として、福島県薬剤師会と連携して実施している薬局を訪れる高齢者への夜光反射材の配布や、県内の小学6年生の児童から高齢家族等への夜光反射材の配布など、夜光反射材の着用促進事業の成果であり、貴協会の交通安全活動にあらためて感謝申し上げます。

また、貴協会には貨物自動車運送事業の発展に尽力される傍ら、セーフティチャレンジ事業への参加と、その結果を活用した交通事故防止コンクール表彰などの交通事故防止活動を通じた実践的な安全運転教育、東北ハイウェイ・セーフティ作戦による高速道路における交通事故防止活動など、様々な交通安全活動を推進していただいております。また、飲酒運転による交通事故の増加に歯止めをかけるべく、会員各位に対し迅速に飲酒運転防止の緊急要請を行うとともに、飲酒運転根絶並びに交通事故防止決起大会を開催するなど、目まぐるしく変化する交通情勢に適確に対応いただいておりますことに、重ねて感謝申し上げます。

昨年は減少傾向にあった交通事故件数が増加に転じたほか、昨年7月には道路交通法が改正され、一定の条件を満たした電動キックボードは、特定小型原動機付自転車として公道での利用が開始されており、今後県内でも利用者の増加が見込まれ、道路交通の一層の多様化が予想されます。

こうした状況に対応すべく、県警察では、本年の重点目標の1つに「総合的な交通事故防止対策の推進」を掲げ、県民を悲惨な交通事故から守るため、交通事故の発生実態を多角的に分析し、その結果に基づいて交通安全対策や交通規制、交通指導取締り及び運転者教育を推進するとともに、自動運転や新たなモビリティに係る交通ルールの普及啓発等を図るため、関係機関・団体と連携した広報活動を通じて、県民への交通安全思想の普及と浸透を図り、安全・安心で快適な秩序ある交通社会を実現してまいりたいと考えております。

皆様方におかれましては、本年も引き続き、県警察と連携した交通事故防止対策の推進をお願い申し上げますとともに、交通安全意識の高揚、啓発活動の推進などにつきまして、一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭に当たり、公益社団法人福島県トラック協会の益々の御発展と、会員の皆様方の御健勝と御多幸をお祈りいたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

## 「飲酒運転根絶並びに交通事故防止決起大会」を開催

**開催日** 令和5年12月8日(金)    **場所** 郡山市 県中研修センター    **参加者** 約100名  
**来賓** 東北運輸局福島運輸支局 佐藤 雅和 支局長    福島県警察本部 板垣 靖志 交通部長  
**講演** 「飲酒と運転」～上手にお酒と付き合おう～  
**講師** 富久山自動車教習所 鬼生田 顕英 代表取締役 (飲酒運転防止上級インストラクター)

本大会は本年度に入り、当協会関係のトラック運転者による飲酒運転に絡む重大事故が2件発生していること、また、トラック運転者3人が事故で亡くなっていることから急遽開いたものである。

冒頭のあいさつで、佐藤信成会長は、八戸で発生した車輪脱落事故を引合いに出し「日常点検は義務である。亡くなった方から見れば点検を忘れたでは済まない。確認することで事故は防げる」、「飲酒運転は根絶できるので、具体的な行動を起こしてもらいたい」と呼びかけた。

来賓からは、佐藤支局長より「飲酒運転禁止は必ず守らなければならない基本ルールである。車輪脱落事故は、被害者・加害者・会社にとって大きな損失であり、安全管理体制の徹底を教育・指導して欲しい」とあいさつがあり、板垣交通部長より「交通事故発生件数が増加しており大変懸念している。飲酒運転の先にあるのは厳しい現実である。職場・家庭からの飲酒運転を撲滅して欲しい」とあいさつがあった。

続いて、講演が行われアルコールが運転に与える影響について具体的なデータに基づき話があったほか、飲酒運転は犯罪行為であること等の話を通し、節度あるアルコールとの付き合い方が講じられた。

また、小野幸吉適正化事業部長が「交通事故惹起に係る行政処分等」について説明し「管理体制の強化」「指導・啓発活動の防止」の重要性を伝えた。

最後に、吉田雅弘青年部会長が「飲酒運転根絶並びに交通事故防止に関する宣言」を読み上げ、参加者全員の拍手で承認された。宣言は下記のとおり。

### 飲酒運転並びに交通事故防止に関する宣言

- 経営トップが先頭に立ち、交通事故防止活動を積極的に推進する
- 出庫及び帰庫時における対面点呼で、目視及びアルコールチェッカーを用いた確実かつ厳正な点呼の実施等により『飲酒運転根絶』への取り組みを徹底する
- 日常点検の徹底、増し締め等の確実な実施により『車輪脱落事故防止』を徹底する
- 労働時間等の改善基準に則った運行及び過労運転防止を徹底する
- 運転者の健康に起因した交通事故防止を徹底する



## 令和5年度 第5回理事会

開催日 令和5年11月18日(土) 参加理事 24名 参加監事 4名  
 場所 郡山市 ビューホテルアネックス

報告事項

- 報告事項の1 「Gマークラッピングトラック」協力事業者について  
 詳細については本誌7頁参照。
- 報告事項の2 令和5年度「トラックの日」キャンペーン事業の結果について  
 詳細については「わだち9月号」参照。
- 報告事項の3 第55回全国トラックドライバーコンテスト結果について  
 当県代表が4部門に1名ずつ参加したが、入賞には至らなかった。
- 報告事項の4 ふくしまゼロカーボンDAY! 2023へのブース出展結果について  
 詳細については本誌9頁参照。
- 報告事項の5 東北運輸局長・福島運輸支局長表彰について  
 当協会推薦の22名が授賞。(東北運輸局長表彰9名、福島運輸支局長表彰13名)
- 報告事項の6 支部主催「労働時間管理セミナー」について  
 詳細については本誌10頁参照。
- 報告事項の7 燃料価格高騰に伴う対応について  
 会員事業者に実態調査を実施。245社から回答いただいた。

議題

- 第1号議案 「令和5年度物流セミナー」について  
 原案通り可決された。
- 第2号議案 台風13号被害に対する対応について  
 原案通り可決された。
- 第3号議案 入会会員及び退会会員について  
 3社の入会、3社の退会が可決された。(承認後会員数1,238(賛助会員282含む))
- その他
  - ①福島県トラック事業政治連盟対応について
  - ②「ふくしまゼロカーボン宣言」への取り組みについて
  - ③「飲酒運転根絶総決起大会(仮称)」の実施について
  - ④今後の行事予定

## 令和5年度 第1回広報委員会

開催日 令和5年11月28日(火) 場所 郡山市 県中研修センター 参加委員 5名

委員会では松尾活秀委員長のあいさつに続き、下記議事について事務局が説明。全ての議案が承認された。

議事内容

- ①令和5年度事業進捗状況等について
- ②令和6年度での主な広報事業の方向性について



## 令和5年度「陸運事業者のための安全マネジメント研修」を開催

**開催日** 令和5年12月1日(金) **場所** 郡山市 県中研修センター **参加者** 83名

**共催** 陸上貨物運送事業労働災害防止協会 福島県支部

**講演** (1)「運輸安全マネジメント」と「RIKMS」の概要説明  
(2)「運輸安全マネジメント」と「RIKMS」の一体的運用方法について  
(3) リスクアセスメントについて

**講師** 陸上貨物運送事業労働災害防止協会 安全管理士 堀野 弘志 氏

本研修は、「運輸安全マネジメント」と「陸運業における労働安全衛生マネジメントシステムガイドライン (RIKMS)」の両マネジメントを理解し、一体的に運用することにより、事故や災害のリスク低減、安全衛生のレベルアップを図ることを目的に開催された。

研修では運輸安全向上のための PDCA サイクル管理手法やリスクアセスメントの具体的な進め方について講演が行われた。尚、本研修はGマーク取得申請の加点対象となっている。



## (株)タムラ、(有)だいわ運送の車両が「Gマーク」をPR!



Gマーク認定制度の認知度向上を図るため、当協会では「Gマーク」のデザインを施したラッピングトラックの走行による広報活動を実施している。

今年度は新たに会員事業所2社にご協力いただき、県中、県南両地区を中心にPR走行している。現在、県内では下記事業所の車両13両がPR走行しており、「Gマーク」の啓発活動に貢献している。

### 県内走行中「Gマーク」ラッピング協力事業所 (13事業所)

会津通運(株)	郡山運送(株)	(株)須賀川東部運送
(株)帝北ロジスティックス	ダイトーロジスティックス(株)	(株)ユミタ運輸
岡田陸運(株)	磐城通運(株)	(株)ケー・アンド・ワイ
丸カ運送(株)	(株)丸や運送	(株)タムラ ※7月~ NEW
NEW (有)だいわ運送 ※9月~		

## 運送業説明見学会及びミニ面接会を開催 (県北支部)

**開催日** 令和5年11月24日(金) **場所** 福島市 福島研修センター **参加者** 27名

人材確保対策事業の一環として、ハローワーク福島と共同で、運送業説明見学会及びミニ面接会を開催した。

説明会では蓬田隆信県北支部長の挨拶、運送業界リクルート動画の放映に続き、求人各社の人事担当者による自社PR、大型車両の乗車体験、ミニ面接会が行われた。

### 参加企業 (求人企業)

- (株)デイリーサービス
- フットワークエクスプレス関東(株)
- 藤田通運(株) ●福島運送(株)
- (株)吉田運輸 ●(株)帝北ロジスティックス



## 【トラック協会 × (株)リクルート】 「Airワーク採用管理」導入・活用セミナーを開催

開催日 令和5年12月4日(月) 場所 郡山市 県中研修センター 参加者 12名

内容 ①(株)リクルートが提供する採用ホームページ「Airワーク 採用管理」に係る説明  
②採用ホームページ開設・トラック事業者向け求人の書き方ワークショップ

講師 (株)リクルート 柴崎 竜太郎氏

当事業は、業界の人材確保対策の一環として全国・地域別の求人情報が検索できるサイトの構築を目的に、全ト協と(株)リクルートが協働し実施するもので、全国のトラック協会加入事業所が費用をかけずに最小限の手間で自社の採用ホームページを開設できるサービスとなっている。

また、当事業を活用した求人情報は、求人検索エンジン「Indeed」と自動連携され、Indeed上からも求職者の応募が可能となり、効率的な採用活動が可能となる。

セミナーでは、(株)リクルート講師からオンラインで説明が行われ、参加者達は現地でサポートを受けながら自社の求人サイト開設に取り組んだ。



## 福島労働局長と「長時間労働の削減等に積極的に取り組んでいる企業」との意見交換会に丸カ運送(株)が参加

開催日 令和5年11月15日(水) 参加者 福島労働局 井口 真嘉 労働局長  
福島運輸支局 佐藤 雅和 支局長  
場所 福島市 福島労働局 丸カ運送(株)ほか1社



厚生労働省では、「過労死等防止啓発月間(11月)」において、過労死等の一つの要因である長時間労働の削減等、過重労働の解消に向けた集中的な周知・啓発等の取り組みを行う「過重労働解消キャンペーン」を実施している。

この意見交換会は同キャンペーンの取り組みの一環として、福島労働局長が長時間労働の削減等に積極的に取り組んでいる県内企業やその取り組みに協力する取引先企業から、取り組み内容について説明を受けるとともに意見交換を行い、報道機関を通じ県民に広く紹介し県下の過重労働の解消等に向けた機運の醸成を図ることを目的に開催された。

## 令和5年度「物流交流授業」を開催

県ト協では県内の小学5年生を対象に“物流”の仕組みやトラック輸送の役割・重要性について授業を通して伝え、業界に興味・関心を持たせることで、将来の業界を担う人材確保に繋げるとともに、トラック運送事業(物流)に理解を持つ消費者などを育てることを目的として物流交流授業を開催している。本年は依頼のあった下記小学校2校で授業を実施した。

### 福島市立森合小学校



開催日 令和5年11月10日(金)  
運営 福島県トラック協会青年部会  
参加者 青年部会7名ほか事務局3名  
対象 5年生児童83名  
内容 座学及びトラック体験授業

### 福島大学附属小学校



開催日 令和5年12月12日(火)  
運営 福島県トラック協会青年部会  
参加者 青年部会3名ほか事務局4名  
対象 5年生児童103名  
内容 質疑応答及びトラック体験授業

## 県ト協青年部会が令和5年度「全体研修会」を開催

開催日 令和5年11月17日(金)

場所 新座市 株関通 東京主管センター

参加者 17名



青年部会では例年、学習・懇親を目的に部会員を対象とした「全体研修会」を実施している。本年は見識を広げるべく上記施設への視察研修を行った。

研修会では生産性や品質の向上、業務効率化が徹底された最先端の物流現場を見学し、人材確保・登用についての講義が行われた。

吉田雅弘部会長は「2024年問題を控え運送の規則やこれまでの商習慣で近視眼的になりがちな部会員が、新しい事や自由な発想に触れる貴重な機会となった」と総括を述べた。

## 県ト協女性部会が令和5年度「研修会」を開催

開催日 令和5年11月21日(火)

場所 郡山市 県中研修センター

参加者 13名

- 講演
- 第1部「健康事業所宣言と健康作り」  
全国健康保険協会福島支部 保健師 阿久津 由香子 氏
  - 第2部「第一部の関連助成金の説明及び申請方法について」  
県ト協 藤家 義弘 業務部長

女性部会はドライバーなど職員の健康意識向上、当協会助成金制度の有効活用を目的に研修会を開催した。

研修会では永山忍部会長から「健康はすべての基本であり、良い仕事をする絶対条件は健康である」とあいさつが述べられた。



## ふくしまゼロカーボンDAY! in しらかわ 2023 ワークショップ開催

開催日 令和5年10月28日(土)

会場 マイタウン白河1F(白河市本町2)

参加者 女性部(県南支部)3名 事務局3名

福島県では、カーボンニュートラルの実現に向けて、さまざまな団体と連携したイベントを展開している。県ト協もその一環として、折紙ワークショップのブースを出展した。ワークショップの内容は、トラックがどのようなものを輸送しているかについて子どもたちと女性部員が対話しながら、折り紙のトラックを作成するもの。子どもたちからは「お菓子や笑顔を運んで!」といった意見が寄せられた。幼稚園や小学生が約80名が参加し、終始賑やかなワークショップとなった。



## 「県ト協セーフティチャレンジ」申し込みのご案内

令和5年度「セーフティチャレンジ」にご参加いただいた会員事業者様は、県ト協が実施する独自の表彰(事故防止コンクール事業所表彰)と本選抽選から洩れたチームを対象とした副賞抽選にご参加いただけますので、この機会に是非ご参加下さい! 参加方法など詳細については協会HP又はQRコードからご確認ください。

※申し込みの際は、お手元に(一社)福島県交通安全協会から送付された「セーフティチャレンジ結果報告書」をご準備下さい。



申込期間 令和6年1月1日(月)～1月28日(日) ※副賞抽選準備の都合上、**期限厳守**でお願いいたします。

お問い合わせ (公社)福島県トラック協会 担当:久保 TEL:024-558-7755 (音声ガイダンス「1」)

# 支部だより

各支部の活動をお知らせ



## 各支部で「労働時間管理セミナー」を開催

2024年問題（時間外労働時間上限年間960時間規制）が間近に迫る中、会員事業者への周知・対策強化を目的に昨年度に引き続き各支部で「労働時間管理セミナー」が開催された。

日時	支部名	会場	参加人数
令和5年11月6日(月)	県 中	県中研修センター	80名
令和5年11月7日(火)	県 北	福島研修センター	50名
令和5年11月8日(水)	会 津	会津方部共同休憩所	40名
令和5年11月14日(火)	県 南	白河の関トラックステーション	55名
令和5年11月15日(水)	い わ き	いわきトラック事業協同組合	60名
令和5年11月17日(金)	相 双	相馬方部共同休憩所	20名

セミナー内容

第1部 働き方改革に伴う関係法令について

講師 各労働基準監督署 担当官

第2部 ～待ったなし！2024年4月～

講師 働き方改革推進支援センター 田部 良夫 様

講師 働き方改革推進支援センター 丹治 正夫 様



### 県中支部

## 事故防止講習会（郡山・本宮地区）を開催



開催日 令和5年11月11日(土) 参加者 76名

場所 郡山市 県中研修センター

講習会

講演①

「高速道路における事故防止」について

講師 福島県警察高速道路交通警察隊 久保 淳 郡山分駐隊長

講演②

「健康教育こそが事故防止の決め手になるのだ」

～会社で取り組もう事故防止対策～

講師 ㈲ホクレア 佐々木ひとみ 氏

## 交通安全協会・郡山市へ寄付金を贈呈

県中支部が下記団体へ寄付金を贈呈した。詳細については下記の通り。

### 【本宮地区交通安全協会】

実施日 令和5年11月21日(火)

場所 郡山市 郡山北警察署本宮分庁舎

内容 交通安全活動基金9回目の贈呈

### 【郡山市】

実施日 令和5年12月4日(月)

場所 郡山市 郡山市役所

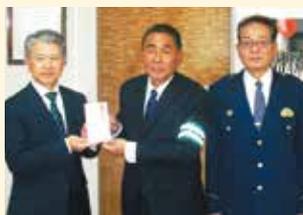
内容 交通遺児に対する激励金42回目の贈呈

### 【田村地区交通安全協会】

実施日 令和5年11月29日(水)

場所 三春町 田村警察署

内容 交通安全活動基金13回目の贈呈



本宮地区交通安全協会への贈呈



品川郡山市長から感謝状を受け取る小野田支部長

## 県南支部

### 「トラック日常点検・メンテナンス講習会」及び「安全パトロール」を実施

#### 【日常点検・メンテナンス講習会】

開催日 令和5年12月9日(土) 参加者 58名

場 所 泉崎村 白河の関トラックステーション

講習会 「日常点検のポイント・車両の不具合発生時対応」

講師 福島日野自動車株



#### 【安全パトロール】

本パトロールは「令和5年度年末・年始労働災害防止強調運動」の一環として労働災害、交通事故の絶無を目的として実施された。

開催日・場所 令和5年12月7日(木) 須賀川地区7事業所  
令和5年12月13日(水) 東石・白河地区6事業所

出席者 須賀川労働基準監督署 伊藤 達夫 署長 参加者 橋本 一美支部長ほか県南支部役員  
白河労働基準監督署 森合 吉徳 署長

## 相双支部

### 相双支部が「事故防止講習会」を開催



開催日 令和5年12月15日(金)

場 所 相馬市 N-resort Fukushima

参加者 43名

講習会

#### 講演①

「改善基準告示・労働基準関係法令の改正について」

講師 相馬労働基準監督署 齋藤 敏彦 署長

#### 講演②

「交通安全講話」

講師 福島県相馬警察署 佐藤 一生 交通課交通第一係班長

## いわき支部

### 安全運転ドライバー研修会を開催

開催日 令和5年11月11日(土)

場 所 いわき市 タイヘイドライバーズスクール

参加者 22名

いわき支部が本年度通算3回目となる安全運転ドライバー研修会を午前・午後の部に分け開催した。研修会は座学、適性診断を活用した実技走行などを行うカリキュラムとなっている。



### 「労働災害防止講習会」を開催

開催日 令和5年11月27日(月)

場 所 いわき市 パレスいわや

参加者 116名

講演

#### ①「陸上運送業における労務管理」

講師 いわき労働基準監督署 針生 達也 署長

#### ②「陸上貨物運送業における労働災害の防止」

講師 いわき労働基準監督署 千葉 光平 安全衛生課長





今回も福島県トラック協会理事紹介をお届けします！

1

## 橋本 一美

有限会社ハシコー梱包運輸



協会役職 副会長 支部役職 支部長

会社住所 福島県岩瀬郡鏡石町桜岡 41-3

TEL 0248-62-6209

主な輸送品目 ダンボール、飲料水

主な輸送地域 県内、北関東

Q. 貴社の強みを教えてください

A. アットホーム的な社内環境なので仕事、社内行事などま  
とまりやすい。

Q. 趣味は？

A. ゴルフ、競馬

Q. 座右の銘は？

A. 努力に即効性はないが努力は裏切らない。

Q. 失敗体験を教えてください（言える範囲で）

A. 私、失敗しないので！（失敗を人生の肥やしにしている  
ので多いにある）

Q. 協会員へのメッセージ

A. 2024年問題、人材不足  
などの対応の為に原資  
の確保を目指してまい  
りましょう！



2

## 菊池 良造

株式会社海老屋運送



協会役職 理事 支部役職 副支部長

会社住所 福島県東白川郡棚倉町上台古宿  
49-3

TEL 0247-33-3337

主な輸送品目 ベアリング、自動車部品

主な輸送地域 県内、関東方面

Q. 好きな映画作品

A. 水戸黄門

Q. どんな性格？

A. 顔は怖い気持は優しい。

Q. どんな子供時代でしたか？

A. 何をやってもお山の大将でいたかった。

Q. 失敗体験を教えてください（言える範囲で）

A. お酒の入った時に約束をすると忘れてしまい、すっぽか  
した事が何度とある。

Q. 協会員へのメッセージ

A. 運送業界が賃上げ出  
来るよう、荷主に対し  
て理解をしてもらえる  
よう、業界として更なる  
働きかけをしていき  
ましょう。



3

## 古川 圭一

株式会社郡山南部運輸



協会役職 理事

支部役職 副支部長

会社住所 福島県須賀川市滑川字西山 52-1

TEL 0248-75-0680

主な輸送品目 自動車部品、鋼材、スクラップ

主な輸送地域 関東方面、東北方面

Q. 嫌いな食べ物はありますか？

A. 嫌いではないが辛い物は避けています(お尻に優しくないので)。

Q. 座右の銘は？

A. 大丈夫 心配するな 何とかかな

Q. 失敗体験を教えてください(言える範囲で)

A. 家の外壁から飛び降りて、足の踵を骨折したことかな。

Q. 仕事で達成感を感じる時は？

A. 何事もなく1日が無事に終えられた時。

Q. 協会員へのメッセージ

A. 苦難を乗り越えた先には、光明がさしているものです。何事にも動じる事無く、まず行動を。



4

## 緑川 直人

小田川運輸有限公司



協会役職 理事

支部役職 副支部長

会社住所 福島県白河市小田川柳町 37

TEL 0248-22-3651

主な輸送品目 自動車関連、食品、  
コンクリート二次製品

主な輸送地域 関東方面および東北方面

Q. 貴社の強みを教えてください

A. 経験豊富な頼れる社員と多種多様な車種・設備とでお客様の要望に応えます。

Q. 趣味は？

A. アウトドア

Q. 仕事で達成感を感じる時は？

A. お客様から社員に対してのお褒めの言葉を頂いたときです。

Q. 仕事で心掛けていることは？

A. 相手に対しても自分自身に対しても誠実である事です。

Q. 協会員へのメッセージ

A. 未来に夢を持てる業界にしていけるよう会員一丸となって頑張っていきましょう。



5

## 吉田 健二

成田運輸株式会社



協会役職 監事

支部役職 幹事

会社住所 福島県岩瀬郡鏡石町諏訪町  
275-3

TEL 0248-62-5364

主な輸送品目 家電、自動車部品

主な輸送地域 県内～中国地方まで

Q. 貴社の強みを教えてください

A. 物流以外にも請負作業など多種多様。

Q. 座右の銘は？

A. 信用とは人に好かれること、約束を守ること、人を儲けさせること。

Q. どんな子供時代でしたか？

A. おとなしい(今も静か)。

Q. 仕事で達成感を感じる時は？

A. 一緒に仕事したときの笑顔。

Q. 協会員へのメッセージ

A. 2024年問題や人手不足など各社大変な状況下とは思いますが、これを乗り越え、皆が活躍できるよう頑張っていきたいと思います。



# ふくトラ・インフォメーション



## 自動車安全運転センター 「優秀安全運転事業所表彰(令和5年第2期)」について

自動車安全運転センター福島県事務所の「優秀安全運転事業所表彰(令和5年第2期)」が発表され、当協会会員事業所から30事業所が表彰されました。

詳細は QR コードから▶



## 【全ト協】引越事業者優良認定制度(引越安心マーク) 2023年度認定事業者を発表

全日本トラック協会が12月18日に「引越事業者優良認定制度(引越安心マーク)」の認定事業者を発表しました。

詳細は QR コードから▶



## 【全ト協】2023年度貨物自動車運送事業安全性 評価事業(Gマーク制度)認定結果について

本年度は安全性優良事業所として9,489事業所が認定されました。

詳細は QR コードから▶





## 会員事業所の最新情報



### 新規入会事業所

支部	店・社名	代表者名	郵便番号	住所	車両台数
県中	(株)アンバーシュリット	高橋 巖	969-1104	本宮市荒井字甲斐 1-1	6
	(株)OHANA LINE	大戸 誠一	963-0201	郡山市大槻町字向原 212	7
いわき	ドリームインターナショナル(株)	榎森 潔	972-8316	いわき市常磐西郷町銭田 107-6	20

### 退会会員事業所

支部	店・社名	支部	店・社名	支部	店・社名	支部	店・社名
県中	エヌケープラント(株)	会津	(有)ジェイボックス	相双	日通相馬港運輸(株)	いわき	(有)川部運送
	(株)三原物産 郡山営業所	相双	(有)松伸		平和貨物運送(株)		(有)山商産業

### 新賛助会員事業所

支部	店・社名	代表者名	郵便番号	住所	車両台数
県南	(株)東北タイセイ物流 白河営業所	高久 栄男	961-8061	西白河郡西郷村大字小田倉字原中 53-1	5

### 賛助会員退会事業所

支部	店・社名	支部	店・社名
県中	ヤマト運輸(株) 小野営業所	いわき	ヤマト運輸(株) いわき平下神谷営業所

## 会員名簿変更

ページ	事業所名	変更事項	新	旧
1	(有)エフワンオートサービス	代表者 (支店・営業所代表者)	大島 竜也	下条 廣司
5	(株)ハヤカワ 郡山営業所 (県北支部から県中支部へ移動)	代表者	菅原 修	森 元気
		郵便番号・住所	〒963-8011 郡山市若葉町 15-5 若葉ビル 3-1	〒960-0113 福島市北矢野目字竹ノ花 1-2
7	(株)ヤマিশ	代表者 (支店・営業所代表者)	石川 英俊	石川 邦俊
7	ワイアールテック(株)	郵便番号 住所	〒960-8163 福島市方木田字前川原 11-1 方木田テナントビル 2-A	〒960-8152 福島市鳥谷野字芝切 13-3
12	アスロード物流(株) 郡山営業所	郵便番号 住所	〒963-0547 郡山市喜久田町卸三丁目 6	〒963-8026 郡山市並木 1-18-1
13	エムケー物流(株)	代表者 (支店・営業所代表者)	澤村 兼人	藤田 安宏
18	東北クリーン運輸(株)	代表者 (支店・営業所代表者)	柳沼 良二	杉原 眞次
20	(有)丸井運送	代表者 (支店・営業所代表者)	澤村 兼人	藤田 安宏
20	ミナミダイレクトサービス	事業所名	ミナミダイレクトサービス	ミナミ総業
21	(有)森運輸	郵便番号	〒969-1104	〒969-1103
22	(株)渡辺組	代表者 (支店・営業所代表者)	渡辺 浩正	渡辺 一郎
27	ヤマト運輸(株) 田村営業所	郵便番号 住所	〒963-4112 田村市大越町下大越字上田 72	〒963-4312 田村市船引町船引字上江 143-5
34	(有)丸信運輸	代表者 (支店・営業所代表者)	佐久間 総地	佐久間 総也
42	福島運送(株) 若松営業所	代表者 (支店・営業所代表者)	濱尾 晃次	武藤 和美
45	(有)進樹運輸	代表者	新開 康一	金澤 茂美
		住所	相馬市坪田字坊山 357-20	相馬市坪田字坊山 357-13



# 陸災防 NEWS

今月のお知らせ

## 第59回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会が開催

**開催日** 令和5年11月9日(木) **場所** 青森市『リンクステーションホール青森』(青森市文化会館)

**参加人数** 福島県支部から役員、表彰者等12名

大会では、以下の事業所等が表彰されました。

### 《令和5年度安全衛生表彰式》

#### 安全衛生表彰(事業場・団体表彰:優良賞)

- ・会津本郷貨物運送(株)(会津分会)

#### 安全衛生表彰(事業場・団体表彰:進歩賞)

- ・あだち運送(株)(県中分会)

#### 安全衛生表彰(事業場・団体表彰:団体賞)

- ・福島県支部県北分会

#### 優良フォークリフト等運転者表彰

- ・茂木 久則 (ヤクルトロジスティクス(株)福島営業所(県北分会))
- ・阿部 修 (西濃運輸(株)福島支店(県北分会))
- ・松井 勝之 (いわき大王紙運輸(株)(いわき分会))
- ・芳賀 浩 (株)帝北ロジスティックス(県北分会)
- ・黒田 光晴 (日通相馬港運輸(株)(相双分会))

#### 永年勤続表彰(10年勤続)

- ・坂井 香織 (陸上貨物運送事業労働災害防止協会福島県支部)

#### 安全衛生標語顕彰(県内所属入賞作品)

##### \* 荷役部門

[最優秀賞] 『荷台に潜む危険の芽 命を守る昇降設備とヘルメット』

五十嵐 雄二  
(陸上貨物運送事業労働災害防止協会福島県支部)

##### \* 交通部門

[入選] 『いつもの道こそ安心せずに 危険予測で安全運行』

関根 美香 株式会社シーズ(県南分会)

『かもしれない いつも頭に 防衛運転』

佐々木 裕二 磐梯貨物(株)本社営業所(会津分会)

##### \* 健康部門

[優秀賞] 『目配り 気配り 心配り 優しい職場でストレスフリー』

渡辺 茂光 (株)大崎 福島営業所(県北分会)

[入選] 『朝起きて健康チェックではじめよう 心と身体の始業点検』

佐久間 浩二 (株)タムラ(県中分会)



安全衛生表彰(事業場・団体表彰:団体賞)  
福島県支部県北分会



安全衛生標語顕彰 荷役部門[最優秀賞]  
五十嵐 雄二氏

## 令和5年度「第2回陸運災防指導員・分会事務局長会議」を開催

**開催日** 令和5年11月20日(月) **場所** 福島市

**出席者** 佐藤支部長・支部管内災防指導員(分会事務局長)

**来賓** 福島労働局 健康安全課 田村 美登理 主任産業安全専門官

令和5年度第2回陸運災防指導員・分会事務局長会議を開催。

会議冒頭、佐藤支部長より挨拶をいただき、続いて、来賓の田村主任産業安全専門官より、「福島冬季転倒災害防止運動(転ばないでね!)」等の取り組みについて説明がありました。その後議事に入り、令和5年度のこれまでの事業経過報告を行った後、「令和5年度年末・年始労働災害防止強調運動」の取り組み等についての説明、協議が行われた。



来賓挨拶: 福島労働局 田村主任産業安全専門官

## 『テールゲートリフター特別教育(学科教育)講習』2月開催のご案内

労働安全衛生規則の一部を改正する省令及び安全衛生特別教育規程の一部を改正する件が令和5年3月28日に公布され、貨物自動車に設置されているテールゲートリフターを使用して荷を積み卸す作業におけるテールゲートリフターの操作業務が、労働安全衛生法第59条第3項に基づく特別教育の対象となり、令和6年2月1日施行日以降は特別教育(義務化)を受けた者でなければ、操作(荷役作業)を行うことができなくなります。

現在、陸災防福島県支部では、教育科目のうち「学科教育講習」を開催しておりますが、2月も引き続き下記の日程にて講習会を開催しますので、ぜひ受講されますようご案内申し上げます。

尚、詳しくは陸災防福島県支部のホームページ又は電話にてお問い合わせ願います。

### 記

1 開催時間 12:30~17:00

2 開催場所・日

開催場所	開催日		定員
郡山市喜久田町卸三丁目5 (公社)福島県トラック協会県中研修センター TEL:024-963-0780	令和6年 2月7日(水)	令和6年 2月21日(水)	各120名

3 問い合わせ先 陸上貨物運送事業労働災害防止協会福島県支部(略称:陸災防/陸運労災防止協会)

TEL:024-558-9011 FAX:024-559-1161

## 新年あけましておめでとうございます



今年もトラック運送事業者様の共済

### 東北交通共済

をよろしくお願いいたします

ご連絡いただければ職員がお伺いしてご説明申し上げます。  
保険設計、何でもご相談を無料で承ります。

東北交通共済は非営利組織として運送事業者に特化した自動車共済(保険)、自賠責共済(保険)、各種損保商品の販売及びトラックの事故防止事業を運営しております。

トラック協会と共に歩む全国トラック交通共済連合会加盟の東北交通共済にお気軽にご相談ください。

Face to Face! お会いしないとトラック共済の良さはお伝えできません。

悩む前にまずお電話を!!



### トラック共済の特徴

- ① トラック共済独自の掛金率。
- ② 多数割引は最大で10%、優良割引は最大で70%、業界トップクラスです。
- ③ 契約後の異動・減車・解約処理はすべて日割りで計算します。短期率の処理は行っておりません。
- ④ 優良割引率は損害率による算定方式を採用。共済金支払いによる優良割引率ダウンは1年度に15%~20%を限度、また大口共済金支払い案件については2年度までの反映としており、過去の事故を長く引きずりません。
- ⑤ 車両共済は、掛金の割増なしで価格協定としており1年間で共済価格は減価しません。
- ⑥ 事故処理も契約者毎の担当者制を採用、事故担当者の顔が見える円滑な事故処理が可能です。
- ⑦ 車両の入替えに車種による制限はございません。
- ⑧ 決算剰余金が出た場合、利用分量配当金ができます。(過去最高33%)
- ⑨ 不測の事態に備え、対人・対物の再共済制度に加入しております。
- ⑩ 損保の代理店業務も行っておりますので損保商品(貨物補償制度・業務災害補償制度など)も取り扱っております。

**福島支部** 担当 下田・齋藤  
福島市飯坂町平野字若狭小屋32  
TEL 024-555-0107  
FAX 024-555-0108

**郡山支部** 担当 山崎・佐々木  
郡山市喜久田町卸3丁目7-2  
TEL 024-953-3420  
FAX 024-953-3421

又は  
福島県トラック協会  
田母神専務理事(東北交通共済理事) まで

# わだち

コラム  
vol.05

業界の先達から若い皆さんへ

## 動画撮影とその不確かな天気

福島県トラック協会 業務部長 藤家 義弘

協会では令和四年度から県内の女性をターゲットとしてウェブの活用を取り入れた広報に力を入れていきます。その中心となるのがイメージ動画の制作です。

令和四年度の三本の動画に引き続き、令和五年度は「南会津コーヒーと蕎麦畑Ver」と「郡山市花屋さんVer」の二本の動画を制作しました。このうち「南会津コーヒーと蕎麦畑Ver」は、「ジーママ」さんに協力いただき動画の撮影を行いました。「ジーママ」は南会津町にある、コーヒーの他にもチキンカーリが美味しい、とても素敵なかフェです。

ところで、南会津町と言えば令和五年の四月に発表された村上春樹の小説『街とその不確かな壁』の舞台となった町ではないかと、ハルキスト（熱心な村上春樹のファンのこと）の間で話題となりました。Z\*\*町の図書館長となった「私」と前館長やコーヒーハウスの女性店主らとの交流で小説は展開していくのですが、そのZ\*\*町が福島県の南会津町を思わせるような記述となっているのです。

—そのZ\*\*町は会津からさほど遠くないところにあるということだった。会津若松からローカル線に乗り換えて、一時間ほどでそこに付く。人口は一万五千人ほど—

福島県在住ハルキストの私としては「村上春樹は取材で福島県南会津町に来たに違いない」と妄想を逞しくしていたところでした。残念ながら、本人はインタビューで「会津地方は行ったことがないので、想像で書きました」とあっさり否定しています（令和五年十月四日福島民友）。

令和五年度制作の動画は、トラックの日キャンペーン事業「いわきFC冠試合（令和五年十月八日開催）」で初披露となりました。

その直前にユニクロの新CMがテレビ等で放映され始めます。それは、カフェで村上春樹の本を読む人たちが偶然出会うという内容ですが、カフェの映像のテイストが偶然にも「南会津コーヒーと蕎麦畑Ver」とそっくりだったのです。先を越されてしまったあゝと悔しかったのと同時に、あのユニクロと同じようなテイストの動画を同時期に制作してPRするなんて、我が協会も「やるじゃないか！」と思ったのでした。このことは、何より動画の制作を含め企画を練っていたいただいたライト・エージェンシーさんのセンスの賜物です。

さて、今回の動画には協会の佐藤会長と広報委員を務める上石理事が、ドライバー役の主人公がより映えるように、さりげなく出演されています。その辺にも注目して観ていただけると、動画をさらに楽しんでいたかと思えます。

私はこのような動画撮影の現場に立ち会うのは初めてでした。イメージする映像が撮れるまで何回でも撮り直す意欲、トラック走行シーンでは他の車や歩行者が映り込まないようにタイミングを待つ忍耐力、あいにくの天気撮影が延期になっても再度の段取りに労をいとわぬ持久力、そして佐藤会長や上石理事がリラックスして出演できるような心配り等々、お洒落な数十秒の動画の背後には長時間に渉る地味ではあるけれどもエネルギーギッシュな裏方の仕事があるということ。その熱意の一端を共有させてもらいました。

—脇役の手を抜くと主役が生きない— 印象に残ったある画家の言葉です。

美味しいコーヒーのおともにとろろ！



トラック広報 わだち1月号（通巻511号）

2024年1月1日発行（2ヶ月毎に1回）

編集発行

公益社団法人 福島県トラック協会  
〒960-0231 福島市飯坂町平野字若狭小屋32  
TEL 024-558-7755(代) FAX 024-558-7731  
HP <http://fukutora.lat37n.com/>

